

報道機関各位

国道41号 岩稲地先災害

5連休前に片側交互規制を解除

○ 国道41号富山市岩稲地先において3月9日に発生した法面崩壊災害に対して、交通量が大幅に増加するGWまでの応急対策完了を目指し、全力で工事を進めてきた結果、

5月の連休が始まる前日の4月30日17時を目途に交通規制を解除することとしました。

(工事進捗状況によっては、解放時間が前後する場合があります。)

○ 現地では、引き続き本格復旧に向けた工事を進めていきます。

○ なお、路面及び崩壊地には異常を検知するための計器を設置しており、計器の値に大きな変化が観測された場合には、全面通行止め等の措置を講じる体制を確保しています。



国道41号岩稲



問い合わせ先



国土交通省

副所長(技術) 川岸 弘昌
道路管理第二課長 島尻 清昭

富山河川国道事務所 Tel. 076-443-4701 (代)

〒930-8537 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

被災概要

・3月9日 10:00頃 国道41号のパトロール時に富山市岩稲地先において車道上のクラックを発見、道路直下擁壁部における斜面崩壊を確認した。

場所：国道41号230.100kp(上り線)神通川側擁壁下部斜面

被災状況：道路直下擁壁部における斜面崩壊

縦断延長 約60m、崩壊高さは2～5m程度

車道上に縦クラックが3本あり。

第三者被害：無し

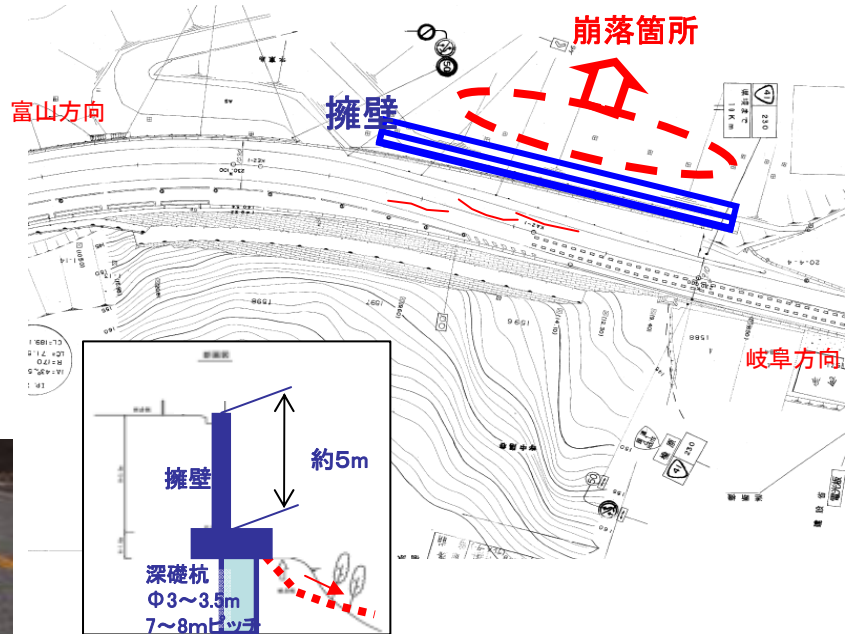
11:30 片側交互通行開始。

・4月30日 17:00 片側交互通行解除(工事進捗状況によっては、解放時間が前後する場合があります。)

●位置図



●被災概要



応急対策

災害発生時に緊急の対策として、路面等からの雨等の進入や崩壊箇所の浸食防止のため、

- 路面のクラック補修
- 崩壊箇所へのブルーシート設置

を実施。



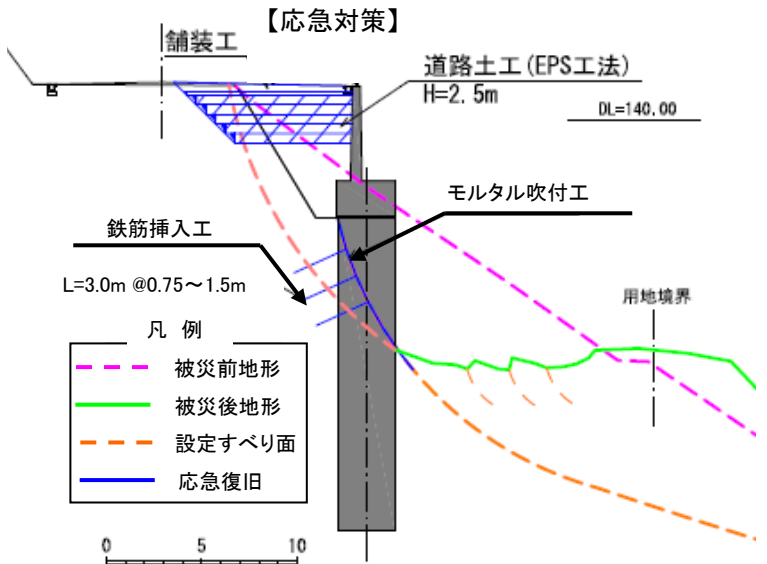
クラック注入後



ブルーシート設置

その後、調査・応急対策を継続して実施しており、表層崩壊、地山のゆるみによる路面の亀裂・陥没対策として、下記の応急復旧を実施

- モルタル吹付、鉄筋挿入工
- 軽量盛土(EPS工法)



掘削状況



EPS施工状況



モルタル吹付等完了後



EPS施工状況



EPS施工完了

舗装など実施